

# 「種まきと刈り取り」

～良い実をみるまで！！～ IIコリント9：8～11、ガラテヤ6章4節～9節

目の前におきるできごとをどううけとめておきますか？どう乗り越えるか、そこでどう向き合うかによってこの物事が非常に悪だった事が益となるということがわかります。すべての事が相はたらきて益となるという聖書の約束があります。神さまは私たちが撒いたものに対して刈り取りを与えその刈り取ったものを祝福して益とすることが出来るのです。ですから私たちは物事に対する向き合い方を正しくしていく必要があります。「神はあなた方を常にすべての事に満ち足りてすべてのよいわざにあふれる者とするために、あらゆる恵みをあふれるばかり与えることのできる方です。」IIコリント9：8

## ■ あなたは満ち足りていますか？ ～5つのパンと2匹の魚～

アンデレはパンを持っている子どもを連れてきました。その子は素直に差し出しました。与えた時に12の籠にいっぱいになったとかいてあります。有り余ってみんなが満腹になって、みんなが豊かになって余ったのです。それがまた撒く種になります。5つのパンと2匹の魚は、私たちが与えることを忘れない為、流すことを忘れない為です。

「人にはおのおの、負うべき自分自身の重荷があるのです。」ガラテヤ6：5

「この地にあってはよると朝が続き暑さと寒さが続き人は労して種を撒かなければならない」と聖書に書いてあります。私たちが撒いた種は、この地で労をしなければならない、重荷を負わなければならなくなりました。人間が選んだ決断でした。それはなぜでしょう。それは人のせいにしてしまった事が原因です。人生も一緒にうまくいっていないと全てがうまくいっていないように見える、今しか見えていないから過程を忘れてしまい、種を撒けなくなり今しか見えなくなります。聖書の恵みから離れているのです。心の貧しいものは幸いです。霊的こじきにならなくてははいけません。問題が起きたらどう向き合うか！そしてそこで自分の心の愚かさや足りなさに気づくのが苦なのです。それを忘れて答えしか見なくなってしまう。人のせいにしつづけ、人間関係がうまくいかないようにしています。どうすれば信頼されるのでしょうか？信頼は裏切らないことではありません。信頼は向き合うことです。人は失敗し、裏切ります。ですが、それでも向き合い続ける中で信頼関係を築いていくことができるのです。そのような人は多くの良い実を实らすことができます。私たちが良い実を豊かに実らせ続けていくために、

## ■ ①何の種を蒔く？

どんな種を蒔いていますか？この御言葉に書かれているように良い種を蒔いていますか？温順・寛容・平和……。どんなに良いことをしても心の根底がこのようであれば意味がありません。イライラは破壊です。イライラはありませんか？このイライラを持って、イライラしながら人に接していても決して良い実を結ぶことはありません。人間関係で失敗するのは、私たちの口（言動）です。私たちは神様の前に素直でなければなりません。しかし、イライラしていると素直に悲しいことや本音を伝えることはできません。いつも神様の前に正直に語るものへとなっていくでしょう！何の種を蒔くか、しっかり決

断していきましょう！私たちの語る言葉で何の種を蒔くのが決まってしまうのです。ただ、悪い種も蒔いている最中にそれが悪いということには気がつきません。ですから注意深くどのような種を蒔いているのか目を覚ましていなければなりません。良い種を蒔く決断をしていけば、経験値をも上げることができます。

## ■ ②良い種を蒔き続ける

私が種だからその人の土地を耕す。良い地を開拓するということが人間関係です。ですから自分が種として遣わされている、その時々自分の持っているものをだれかに流しましょう。儉約とケチは違います。なのでケチにならないようにしましょう！それはダメだよとされていることをしないように決断し続ける。

## ■ ③より頼む

もし向き合い、問題に関わったとしたら、もし神様の道に立ち返るなら、イバラのかわりにもみの木が生えると聖書は約束してくれているのです。私たちはこのプロセスをしばしば省きたいと思えます。しかし、可愛い子には償って赦された人たちです。神様は私たちがいつも赦してくれます。しかし、蒔いた種は刈り取らなければならないのです。しかし向き合えば、いばらがもみの木に変わります。もみの木は永遠です。あなたの問題が奇跡と赦しになるのです。もしも、あなたの目の前に問題があるのなら、あなたがもしかしたら悪い種を蒔いているのかもしれない。良い実を实らすために、私たちは向き合う必要があるのです。ですから、神様により頼みましょう！悪い種を蒔いたのなら必ず刈り取るようになります。しかし、恐れてはなりません。刈り取る時に神様により頼み向き合うとき、いばらがもみの木に変わると聖書は約束して下さっています。

## まとめ

私たちは、すぐに誘惑に負けてしまい、感情的になってすべてを投げ出してしまいたくなります。神様はその為に、私たちに強くさせてくださろうとして下さっています。良い実を残す為に……。今、問題があるのなら、それは大きなチャンスです。ですから今、人の塵をみるのではなく、自分の目の中にある梁を見るべきです。相手は関係ありません。自分がどうあるかです。私たちの持てる種を蒔きましょう！蒔き続けましょう！イエス様は私たちの為に十字架に架されました。私たちが人を罵る口の為にです。私たちのうちにある、劣等感や比較、孤独……。それら一切を主の前に捨て続けて行きましょう！神様は全てを働かせて益として下さいます！

(要約者：富岡 美千男)

(7月24日)